

大阪府立狭山池博物館 E S C O 事業 提案審査の講評

大阪府立狭山池博物館ESCO事業の提案審査について講評いたします。

本ESCO事業は、府立狭山池博物館を対象に提案公募を行ったものであり、2事業者より公募条件を大きく上回る省エネルギー効果のご提案がありました。

東芝エレベータ株式会社、IBJL東芝リース株式会社のグループは、既設照明のLED照明化やパッケージエアコンの更新に加え、補助金が採択された場合は、空調熱源システムを高効率空冷ヒートポンプチラーと熱回収ヒートポンプを組み合わせたシステムに更新し、さらにビルマルチエアコンの更新により、約42%と極めて高い省エネ率を実現するものであり、大阪府にとって非常に有益なご提案でした。

また、シナネン株式会社、東京センチュリーリース株式会社、中川企画建設株式会社、株式会社ネットのグループは、既設照明のLED照明化に加え、既設熱源機器2台のうち1台を高効率な機器へ更新するご提案でありましたが、前者には及びませんでした。

事前に公表している審査要領及び募集要項に基づき審査を行った結果、評定点合計の最も高い東芝エレベータ株式会社、IBJL東芝リース株式会社のグループを最優秀提案者とし、シナネン株式会社、東京センチュリーリース株式会社、中川企画建設株式会社、株式会社ネットのグループを優秀提案者といたしました。

最後に、多大なるご労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者の皆様に、あらためてお礼申し上げます。

平成28年8月10日

大阪府 E S C O 提案審査会 E S C O 事業者選定部会

部会長 相良 和伸